

# 2019年度中央社保協第6回運営委員会

2020年3月4日（水） 13時半～ 日本医療労働会館会議室

## 【出席確認】

### ○代表委員

住江（保団連） 山田（民医連） 岩橋（全労連） 鎌倉（医労連）  
寺川（東京） 井上（大阪）

### ○運営委員

白沢（障全協） 池田（新婦人） 中山（全商連） 西野（全生連）  
吉川（農民連） 民谷（福祉保育労） 山田（全教） （建交労）  
吉田（年金者組合） 瀧川（医労連） 上所（保団連）  
梅津（共産党） 井上（国公労連） 小泉（自治労連）  
岡田（医療福祉生協連） 久保田（民医連）  
沢野（北海道） 高橋（宮城） 川嶋（埼玉） 藤田（千葉）  
窪田（東京） 根本（神奈川） 寺越（石川） 小松（愛知）  
寺内（大阪） 楠藤（徳島） 西村（福岡）

### ○事務局

山口、是枝、工藤（保団連）、山本（民医連）、大西（全労連）

## 【報告事項】

- 2月 5日 中央社保協全国代表者会議（別紙参照）  
6日 介護署名提出行動・厚労省要請（全労連ニュース参照）  
国民大運動実行委員会総会  
7日 社会保障誌2020初夏号編集委員会  
10日 25条共同行動事務局会議  
12日 定例国会行動  
地域医療を守る全国交流集会実行員会  
14日 社会保障拡充4の日宣伝行動  
全労連社保闘争本部  
15日 424地域医療を守る共同行動JR国立駅前宣伝行動  
17日 子供医療ネット院内集会  
東海ブロック第48回社保学校打ち合わせ会議  
18日 公団自治協懇談  
19日 424共同行動打ち合わせ、厚労委員要請  
ヒューマンチェーン要請行動音響打ち合わせ  
20日 保団連国会行動  
22日 日本医労連自治体病院交流集会  
23日 近畿ブロック会議・新春懇談会  
生活保護基準引き下げ違憲訴訟勝利名古屋地裁大決起集会  
25日 25日宣伝行動

- 25条共同行動事務局会議
- 26日 424地域医療共同行動院内集会（全労連ニュース参照）  
定例国会行動（中止）
- 27日 25条共同行動実行委員会
- 28日 後期高齢2割負担化反対署名推進打ち合わせ会議  
都立病院守り充実させる会懇談  
いのち・暮らし・社会保障を守る国民集会実行委員会
- 3月 2日 第7回代表委員会

【情勢の特徴】

① 新型コロナウイルス関連（別紙資料参照）

安倍首相は、2日の参院予算委員会で「政府としてはあらゆる可能性を想定し、国民生活への影響を最小化するため、緊急事態宣言の実施も含めて新型インフルエンザ等対策特別措置法と同等の措置を講ずることが可能となるよう、立法措置を早急に進める」と発言。

◆二転三転する政府の方針

- 2月25日 「学校等における感染対策の方針の提示及び学校等の臨時休業等の適切な実施に関して都道府県等から設置者等に要請する」（政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針）
- 27日 「全国すべての小学校、中学校、高校、特別支援学校に、3月2日から春休みまで臨時休校を行うよう要請する」（安倍首相）
- 28日 「臨時休校を実施する期間や形態については、地域や学校の実情を踏まえて設置者においてさまざまな工夫があつて良いと考えております」（萩生田科学相）
- 29日 「全国すべての小学校、中学校、高等学校、特別支援学校について、来週月曜日から春休みに入るまで臨時休業を行うよう要請致しました」（安倍首相）

② 病院リスト撤回を 再編統合 衆院総務委（別紙資料参照）

日本共産党の本村伸子議員は2月28日の衆院総務委員会で、安倍晋三首相に対し、再編統合を求めて公表した全国424の公立・公的病院実名リストの撤回を迫りました。

本村氏は、新型コロナウイルス感染症が感染拡大した場合の医療体制が懸念され、南海トラフ巨大地震発生時の医療体制の不足も明らかになっていると指摘。リスト公表の発端となった経済財政諮問会議（議長・安倍首相）が緊急時の医療体制を議論していないことを批判しました。

本村氏は、安倍首相の地元山口県でも14の公立・公的病院がリストに記載され、広島からUターンした住民から「名前があがった病院は妻が通院しており、もう一度広島に戻ることも考えないといけない」との声が出ていることを紹介。静岡の病院では内定者が採用直前に就職を辞退するなど、リストが実害

を引き起こしていることもあけて、「国がやるべきことは安心して暮らせるよう医療を充実させることだ」と述べ、リストの撤回を主張しました。

安倍首相は「リストは地域で医療機能の在り方を考える際の材料として示した」と述べるだけでした。

本村氏は、自治体の医療体制確保のために財政支援する「地域医療介護総合確保基金」も、政府が病院再編統合に使える財源として重点化したことを批判し、自治体が医師確保などを目的に柔軟に使えるように求めました。

(赤旗 3月2日付け)

### 【協議事項】

(1) 2019年度中央社保協全国代表者会議について(別紙参照)

日時 2020年2月5日(水) 10時半～16時半

場所 参議院議員会館101会議室

参加 29都道府県社保協38名、15中央団体24名、事務局3名 65名

(2) 20年度第64回全国総会日程案ならびに今秋に向けての運動について

① 2020年度第64回全国総会日程案

日時 7月12日(日) 10時半～16時半

場所 大阪民医連会議室

東京都知事選挙やオリンピックの日程等考慮し、開催場所を東京以外として、7月11日(土)大阪市内での開催を提案、検討しましたが、会場を押さえられず、7月12日(日)の開催で検討します。

② 今秋以降の運動について 全国総会方針のたたき台のたたき台

※3月3日の代表委員会で意見交換

1) 全世代型社会保障「改革」の基本点

働き方を含めた改革を社会保障「改革」とパッケージとして強行。

年金、医療、介護、働き方などの各制度全般を改悪し、全世代に「負担増と給付の削減」を強いる「改革」。社会保障制度を企業の収益の対象とする狙い。

社会保障制度改革推進法で明記された「社会保障制度改革」は「自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるよう留意し、家族相互及び国民相互の助け合いの仕組みを通じてその実現を支援していく」ことを達成していく。

自治体戦略2040構想でも目標と設定された「半分の職員数でも担うべき機能を発揮される自治体」として、社会保障、福祉が削減され切り捨てられる中で「量的にも質的にも困難さを増す課題を突破できるような仕組みを構築する」「自治体は、自助を基本」とし「放置すれば社会問題となる課題について踏み込んでいく」体制づくりが進められていく。

社会保障制度を解体しつつ、地域で起こる諸問題に対して「地域共生社会」の名のもとに、社会福祉法人、NPOなども含む「住民等」に「地域生活課題を解決」させ。自治体機能の「転換」が一体的に進められる。

社会保障制度の解体と地方自治解体が、同時に進めることを狙う。

2) いかにたたかいを進めるか。

当面する「全世代型社会保障改革」を阻止する運動を通常国会とともに今秋の臨時国会に照準をあてる。中央社保協がこれまで以上に広範な中央・地域諸団体との連携を発展させ、立憲野党集団との「改革」阻止の連携を築き、国会内外でのたたかいを展開する。

安倍政権打倒のたたかいを社会保障運動を通じて展開する。

市民連合と5野党・会派の「共通政策」である生活を底上げする経済、社会保障政策を確立し、貧困・格差を解消する。また、若い人々が安心して生活できるように公営住宅を拡充すること」などをさらに深め、政策の具体化、実現していくことを打ち出していく。中央社保協として「社会保障政策を確立」「貧困・格差を解消」していくために、「人権としての社会保障」を全力で政策立案・提案し、中央・地域から、大闘争を構築する。

そのために「過半数の自治体での地域社保協」づくりを前進させる中で実現する基礎を築いていく。

3) 現時点での春から秋のたたかい

①現時点で確定している今後の主な日程

4月13日(月) 年金署名提出・厚生労働委員要請行動

5月 介護ウエーブ月間

5月25日(月) 「守ろう!社会保障 全国アクション」ヒューマンチェーン(国会包囲行動)

5月27日(水) 院内集会・署名提出行動  
(25条、介護署名含むあらゆる署名の最終提出へ)

6月頃 「介護の提言」の確定

7月12日(日) 中央社保協総会(大阪にて)

8月29-30日 中央社保学校(名古屋) 30日介護シンポ(現地企画)

10月22日(木) 秋の国民医療集会(日比谷野音)…予定

10月25日(日) 全国介護学習交流集会(全労連会館)

11月 介護ウエーブ月間

11月11日 介護認知症なんでも無料電話相談

11月23日 地域医療を守る運動全国交流集会

② 安倍政権打倒。国民のための真の社会保障改革実現のための政治へ転換をめざし、10月～11月を社会保障改革実現のための全国統一行動強化月間とする。

そのために、広範な中央・地域諸団体との連携を発展させる。

25条共同行動での広がりをも、量的にも質的にも広げる

③ 25条新署名を今後どうするか…新署名の作成テンポなどの検討を進める

(3) 25条共同行動実行委員会「守ろう!社会保障 全国アクション」の取り組みについて(行動要綱案等参照)

①行動期間を2020年6月までとし、ヒューマンチェーン(国会包囲行動)行動を4月13日(月)から5月25日(月)に延期することとしました。

②4月13日は、年金者組合と共同し、年金署名提出行動ならびに厚生労働委員要請行動に取り組むこととしました。

(4) 当面する国会行動、宣伝行動について

①第201通常国会は、6月17日閉会(会期150日間)で予定され、原則、隔週水曜日、12時15分～衆議院第二議員会館前で行動が予定されていますが、新型コロナウイルスの影響で3月11日の行動が中止となり、以降の日程について、検討中です。

3月26日の後期高齢2割負担反対署名提出行動は中止し、5月27日に集中することになりました。

1月29日(水)

31日(金) 高齢者怒りの行動 後期高齢2割負担反対署名提出行動

2月6日(木) 介護署名提出行動 厚労省要請を検討

2月12日(水)

2月17日(月) 子ども医療費無料制度を国に求める全国ネットワーク国会内集会

2月26日(水) 地域医療を守る共同行動院内集会

※国会行動中止

3月11日(水) ※国会行動中止

3月25日(水)

26日(木) 後期高齢2割負担反対署名提出行動 ※中止

4月8日(水)

13日(月) 「守ろう!社会保障 全国アクション」4・13議員要請年金署名提出行動

4月22日(水)

5月13日(水) 全国災対連国会行動と共同

5月27日(水) 25条署名最終提出日

国会最終盤の署名提出として各署名をすべて提出

6月10日(水)

②宣伝行動について、行動集中ゾーン(13-15日、23-25日)を掲げて、行動を提起しています。

中央は、社会保障拡充「4」の日宣伝、25条共同行動25日宣伝、消費税廃止各界連宣伝行動(24日予定)に取り組んでいます。

3月以降の行動について、新型コロナウイルスの影響で、14日の行動を中止します。

3月14日(土) 巢鴨地蔵通り商店街 ※中止

25日(水) 16時～ 御茶ノ水駅前

4月14日(火) 巢鴨駅前

25日(土) 12時～ 新宿駅南口

※消費税廃止各界連の行動は、現在検討中です。

(5) 第48回中央社保学校 別紙参照

① 日程：2020年8月29日(土)午前～30日(日)午後

② 会場：ウイルあいち

ホール(定員800人) 29日前日・30日午前と午後

分科会会場として 大会議室(定員360人) 29日午前・午後

セミナールーム1・2 定員100

セミナールーム5・6 定員 54\*2

特別会議室 定員 63

③ 現地での体制

現地実行委員会、現地事務局(東海ブロック会議が兼任)を結成する  
3月18日に結成予定

④ 企画立案の進め方

- ・ 2020年第48回中央社保学校第1回現地事務局会議を開催
  - ✓ 日時:1月10日(木)13時～15時
  - ✓ 議題:第48回中央社保学校開催の目的やねらい、概要案を協議
- ・ 現地事務局会議からの提案を1月代表委員会にて協議・確認の上、2月代表者会議にて第1次案として報告し各県社保協・中央団体での参加組織を提起していく。
- ・ 現地事務局会議開催に伴う経費は、社保学校全体の予算に組み込む。
- ・ 企画内容について、別紙
- ・

(6) 中央社保協ホームページについて

- ・ 各県社保協の自治体キャラバンの情報を掲載準備する
- ・ 各県社保協のニュースの掲載について
  - ✓ 2020年1月からの発行分について、全体を一覧表で閲覧できるように工夫を開始する
- ・ 「会員のページ」を開設し、パスワードを提案。

▽会員専用ページ

<https://shahokyo.jp/members/>

ID: shahokyo

パスワード: kenpou25

(7) 団体からの要請について

①朝日訴訟の会からの要請について（別紙参照）

朝日・小川賞を設置し、中央社保協へ選考委員の選出依頼です。

（以下、井上英夫先生メール文）

社会保障危機の時代、ご活躍に敬意を表します。

藤原さん、朝日訴訟の会の川谷さん、鈴木静さんと井上で朝日・小川賞について検討し、準備してきました。

小川政亮賞を発展させ、人権としての社会保障の確立に一層寄与しようという趣旨です。

以下お願いです。

1 運営会議運営規約案と設置要綱案を添付しましたのでご意見ください。朝日訴訟の会理事会では承認されています。

2 運営委員と選考委員候補として次の方を挙げています。

井上英夫、鈴木勉、木下秀雄、山本忠、垣内国光、河合克義、佐藤嘉夫、矢嶋里絵、藤原精吾、朝日訴訟の会会長、中央社会保障推進協議会代表

② 全国一律最低賃金の実現目指す「全国最賃アクションプラン」（別紙参照）

署名、運動への参加呼びかけです。

③ 公団自治協（全国公団住宅自治会協議会）より懇談の依頼

加入団地自治会数……250自治会

加入団地の総戸数……約260000戸

2月18日、公団自治協の興梠事務局長ら3人、江東区社保協事務局長から要請。公団住宅をめぐる家賃の高騰や入居者（高齢者、生保利用者、外国人が急増）の切実な状況が顕著となり、社会保障（特に介護）の課題で、学習を含めた懇談の要請がありました。

(8) 当面のブロック会議日程

3月 9日 北信越ブロック会議

10日 四国ブロック会議

12日 北海道・東北ブロック会議

16日 中国ブロック会議

関東甲ブロック会議

※都立病院を守り、充実させる会が検討する地域医療を守る共同集会（仮）への参加、共同について検討

18日 東海ブロック会議 社会保障学校現地実行委員会  
4月 近畿ブロック会議  
5月 九州ブロック会議

◆次回日程 4月1日(水) 13時-17時 日本医療労働会館会議室



## 中央社保協 2019 年度全国代表者会議 報告

- 日時：2020 年 2 月 5 日(水)午前 10 時 30 分～16 時 30 分
- 会場：参議院議員会館 101 会議室
- 出席：29 都道府県社保協 38 名、15 中央団体 24 名、事務局 3 名 65 名

司会 = 窪田光運営委員

### 1. 開会あいさつ 住江憲勇中央社保協代表委員

大企業は内部留保をさらに増加させていく一方で、非正規労働者が 2130 万人で 3/4 は年収 200 万円以下、こどもの貧困も厳しさをまし例えば満足に食料を得ていない(不足)が 17%となっている。生活保護の捕捉率も 15～20%。政府はこうした事態にどう応え施策を打ち出すかが問われている。もり・かけ問題、I R 問題、自衛隊中東派遣など政治の劣化が著しい。参議院選挙で 2/3 を割ったにも関わらず改憲策動を進める政府。消費税 10%への増税で小売店の売り上げは -7.1%を記録している。安倍内閣の経済政策は失敗している。その上「全世代型社会保障『改革』」で、今後さらに所得再分配機能はズタズタにされ、大企業や富裕層が富を独占することになる。大企業の剰余価値を最大化する政治を変えていくたたかいを大きく広げていきましょう。

### 2. 来賓あいさつ 渡辺正道事務局長

軍事費では、来年度国会予算が 5 兆 3 千億を超え、一方で社会保障費は抑制される。消費税増税で経済は落ち込んでいる、国民の懐を温める政策が求められている。「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動は、この 40 年社保協や市民運動とともにたたかってきた。これからも一緒にたたかっていきましょう。全世代型社会保障「改革」を最大のチャレンジと安倍内閣は位置づけています。その中心には、高齢者になっても働き続けよ、年金の支給開始は 75 歳まで先延ばしできるといった「働き方改革」があります。雇用、年金、医療、介護が一体となった改悪を進める全世代型社会保障「改革」に対抗した運動を広げ、安倍内閣に終止符を打っていきましょう。

### 3. 国会議員からのあいさつ 宮本徹衆議院議員

「桜を見る会」についての安倍首相の“珍答弁”もありますが、徹底追及をしていきます。全世代型社会保障「改革」の中心施策である後期高齢者医療お一定所得以上の方の負担を 2 割にする方針は大問題だ。介護保険にも 2 割負担が導入されているが、それと同じ基準だと言わないということは、もっと幅広い方を 2 割化の対象にする可能性も否定できない。現役世代の負担を軽くするというが、狙いは「全世代の負担増」でしかない。要介護 3 以上でないの特養に入れなくなっているが、入所できない分の高齢者に対する家族の負担が現役世代にかかっている現実がある。現役世代の負担軽減は大嘘だ。

### 4. 基調報告の提案、補足提案 山口一秀中央社保協事務局長、是枝一成中央社保協事務局次長

山口事務局長が、情勢、これまでの活動経過、次期総会までの今後の活動方針について報告提案をおこなった。また、2020 年第 48 回中央社保学校の開催、「介護提言」(素案、20191016 版)の討議の呼びかけ、中央社保協ホームページについての提案を是枝事務局次長がおこなった。

詳細は、提案文書参照のこと。

## 5. 発言(要旨)

### ① 全生連、西野さん

- ・ 2月23日に開催される「生活保護基準引き下げ違憲訴訟名古屋地裁勝利大決起集会」への参加、協力の呼びかけ。東京や大阪などの生健会からもバスをチャーターして大規模な参加が予定されている。生活保護費減額処分取り消しを求め、全国29都道府県で1022人の原告が生存権裁判を提起したたかっている。6月頃には全国に先駆け名古屋地裁で判決が出される予定だ。名古屋地裁では、生活保護基準を話し合う国の社会保障審議会基準部会の部会長代理をした岩田正美さん(日本女子大学名誉教授)が証言に立ち審議会では「基準引き下げを容認していない」と証言している。この判決は全国の裁判に大きな影響を与え、勝利判決を勝ち取れば、安倍政権の社会保障変質・解体路線に風穴を開けることができます。地裁あての署名を各組織でも集めていただき、取り組みを大きく発展させましょう。

### ② 高齢期運動連絡会 中山さん

- ・ 後期高齢者医療制度負担の2割化反対の署名は前回49万筆が集められている。今回の後期高齢者2割化がダメな理由は3点にまとめられる。第1点は、高齢者も公平に負担せよというが、高齢者であるが故に受診回数も多くなり、1回受診あたりの1割の一部負担金額も高くなっている。それを2割にして負担をさらに増やすのは「公平」ではない。第2点は、応能負担と言うが、保険料や税を既に応能負担しているのに加えて、一部負担金も応能に負担せよはおかしい。3点目には、一定所得の額の設定で対象が広がる事になる。既に3割負担120万人(6.7%)いて、1割負担で減免無しの方は950万人(53%)となっているのでそうした方々への負担増が危惧される。「退職者連合」も2割化反対を表明している。

### ③ 障全協 山崎さん

- ・ いわゆる65歳問題では、岡山の浅田裁判後も、障害福祉サービスの継続利用が認められないケースも見られる。千葉県の天海訴訟への支援強化が必要。障害福祉サービスの継続ができることを知らない方々も多い。行政の窓口でも「利用できない」と話している。地域社保協がそうした方々と一緒に行政窓口に行くなどの支援をお願いしたい。こうした対応は「障害者排除」の論理だ。旧優生保護法の不妊手術、ハンセン病への差別、障害者雇用の問題などがある。公的支援を地域住民の支援へとすり替える施策が進みつつある。しかし、支援しきれずに差別を助長する動きになるのではないか。働き方改革では、働けない高齢者はどうなるのか。支援を要する方々への排除が進むのではないか。世代を超えて一緒にたたかおう。

### ④ 愛知県社保協 小松さん

- ・ 病院再編統合問題では、愛知県でも「共同行動」が結成され、リストアップされた病院との懇談をおきない、自治体との懇談も進めているところだ。生活保護裁判では、名古屋地裁で1月27日結審、6月25日判決のスケジュールとなっている。2月23日に裁判勝利へ向けての大決起集会を行う。マスコミの関心も高くなっていて、読売新聞までもが取材に来た。自治体キャラバンでは、子ども医療費無料化が広がっていることが分かる。入院は大学生まで助成する自治体も出てきている。ただ介護の65歳問題では、一宮市が「本人

に納得してもらい、介護保険のサービスに移行してもらっている」などの動きもある。中央社保学校についても愛知としても頑張っており取り組んでいきたい。

⑤ 全日本民医連 山本さん

- ・ 長野のあずみの里裁判では、1 審では窒息させたと認定して有罪判決が出されたが、2 審東京高裁では脳梗塞で死亡したとの 3 人の医師の鑑定は採用されず、結審してしまっている。裁判所へ署名は 26 万筆集まっています、今度は高裁への抗議 FAX 等を提起している。1 審判決は、介護現場にショックを与えていて、ある介護事業所では「おやつ」をやめるところも出ている。裁判では「ゼリー」に変更しなかった事を問題視しているが、専門家からは疑問が出されている。最高裁や検察にも安倍内閣の権力介入がある中では、こうした事態を許していると暗黒裁判になってしまう事を危惧する。

⑥ 千葉県社保協 藤田さん

- ・ 千葉県社保協ニュースにもあるように、災害対策問題で県社保協が災害対策連絡会とともに県に要望書を出す活動も行っている。国保など医療費の軽減措置等を訴えている。被災者のショートステイの延長での負担増の問題も取り上げている。実態や要求を社保協がつかむ事が重要で制度活用の案内パンフも作成した。2 月 2 日にはシンポジウムを自治体問題研究所と一緒に開催している。自治体職員とも連携をとっている。

⑦ 松戸市社保協 関さん

- ・ なんでも電話相談が昨年 12 月に開催され、10 年 13 回を重ねている。東葛 6 市では、地域社保協や民医連事業所が存在するなどの共通点と特徴点がある。弁護士、司法書士、医療職などの専門家がワンストップで相談にのる。まずは生活や医療の相談を入口にして悩みなどを引き出し必要な法律相談にもつないでいる。過去には東葛病院の医師が、相談活動内容を社会医学会に発表したりもしている。

⑧ 神奈川県社保協 根本さん

- ・ 横浜市は、国保の資格証の発行をやめたのに続いて、昨年 8 月より短期証の発行もやめている。大井町では、本年 4 月から 18 歳まで医療費助成を拡大した。また、国民健康保険料の 18 歳までの均等割を全額免除(世帯主であっても)が行われている。公立公的病院統廃合問題では、県は地域の病院を無くしてはならないとの見解を持っている。全世代型社会保障へのたたかひの隊列を組もう。第 1 には、当事者の要求に基づくたたかひが重要だ。75 歳以上の 2 割化に反対するスタート集会を 4 月 16 日に行う。その実行委員会を 2 月に立ち上げる。これまでも川崎市老人クラブが 4 千筆、茅ヶ崎の団地で 6 千筆集まる。第 2 に統一戦線的なたたかひが必要だ。第 3 に応能負担、自己責任論の考え方にも対峙していく思想を確立していくことが必要。

⑨ 埼玉県社保協 川嶋さん

- ・ 全世代型社会保障へのたたかひとともに、公立公的病院再編統合問題にも取り組んでいる。3 つの問題があり①県立病院の独法化(県立 4 病院を対象に 21 年 4 月から)、②公立・公的病院が 7 病院リストアップされ追加があるようす③福祉局直営の総合リハ病院を企業会計に移行し独法化するための検討会が開かれている。また、国保運営協議会では、各市町村の納付金は前年より下がる見通しなので法定外繰り入れを減らさなければ保険料を下げられる可能性がある。川口市社保協では 4 千筆の署名を集めている。東松山市では、再編統合の対象となった 2 病院あり院長は「国はいらんことをしてくれた」と発言もある。朝霞

市では生活保護について「支給明細書」が各人に出されているので、全県に広げて行きたい

⑩ 静岡県社保協 宮倉さん

- ・ 病院再編問題で学習会を行い 80 名が参加した。「真実を学ぶ」「アンテナ高く情報を得て、自分で判断していきたい」などの感想が出された。取り組み的には、院長名で反対署名が届いてきたり、街頭宣伝でも短時間で 100 筆(普段の 3 倍)が集まった。しかし、耐震化の建て替えでベッド数を削減(110 床→80 床)して補助金をもらう病院もある。民間病院もこれからリストが出てくるので、民間病院も含む大きな運動にしていこう

⑪ 静岡県社保協 小高さん

- ・ シンママの課題での学習会を行っている。介護電話相談では記者会見には静岡新聞のみの出席であったが、そのつながりもあり県社保協へ国保差し押さえの問題での取材もある。県議会での動きとして、自民党が請願の紹介には複数議員が必要とするような動きがある。2 月 23 日の名古屋の大決起集会には大型バスを満杯にして参加したい。

⑫ 秋田県社保協 佐竹さん

- ・ 秋田県では 5 病院がリストアップされた公立・公的病院再編統合問題では、25 市町村中 24 議会で反対決議があがり、残る 1 議会も継続審議となっている。県知事も反対の表明を行っている。周辺の自治体からも支えていく運動を進めたい。市立大森病院では、地域包括ケアの実践を全国から視察に来るような取り組みをしている。老人クラブを中心に病院を守る会が発足し、1021 筆の陳情署名を集め、市議会も抗議決議を採択した。町立羽後病院では、町長が絶対に病院を守ると表明して、患者向けには「不安なく」と伝えている。能代では、市を挙げてこれまでも地域医療機能推進機構(JCHO)の病院の統廃合を止めてきた経緯があり市議会議長が絶対反対と。大館市立扇田病院では、夕方の診療を開始するなどの努力もしてきている。厚生連の病院では、医師不足の中周辺 5 市町で 2014 年に病院閉鎖を止めてきたが、その病院がリストアップされた。3 月 7 日に共同行動の結成総会を行う。

⑬ 全商連 大友さん

- ・ 全商連で調査した「国民健康保険で子どもの均等割の減免を行っている自治体(2019 年 12 月 20 日現在)」を自治体要請などに活用してほしい。長野県●●市、神奈川県大井町を加えてほしい。国保制度改善強化全国大会でも「子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料(税)の軽減制度の創設を行うこと」と決議している。全国的には 18 歳まで助成が主流であり、所得制限なしも多く、人口 1 万人以下の自治体でも均等割廃止を実施していて人口の大小は関係ない。実施のための予算額も全体の 0.01%~0.67%なので自治体に必要額を計算させることも重要。実施にあたっては「要綱」ではなく「条例」を定めさせる。

⑭ 長野県社保協 原さん

- ・ 公立・公的病院再編統合問題では、対象のうち 6 病院と懇談を行っている。出された意見は「憤っている。心外だ」「一律の基準では判断できない」「もう病院はなくても良いとの印象」「20 分の基準はナンセンス。夏場でも 20 分では無理だし雪が降ればなおさら」、競合についても「地域地域で役割が違う、協力体制を組み地域で完結させる医療に取り組んでいる」、再編についても「地方の状況に応じた再編は既にやってきている」、「職員や地域に

早く説明し不安を払しょくしている」「飯山赤十字病院については、近隣 4 自治体で要望書が出されている」「飯山町は、地域で協議して決めていく」などが出されている。今後、県民集会やシンポジウムを開催していく

⑮ 全国保団連 工藤さん

- ・ コロナウイルス問題では保団連として政府に要請書を出した。後期高齢者の 2 割化、200 床以上病院での初診で 5 千円以上の追加負担、市販類似薬の保険適用外し、介護保険での「補足給付」の見直しなど今後「骨太方針 2020」で医療改悪案の具体化が行われることになる。たたかひの方向性として①高齢者や国民の実態を明らかにしていく②社会保障の原理原則をつかむことが重要。現役世代の負担を抑えることを口実にしているが、改悪内容を分析し全世代に負担増を強いていくことを明らかにしていく。負担と給付のバランスを考えていく制度は、社会保障ではない。

⑯ 宮城県社保協 高橋さん

- ・ 宮城県議会では、昨年の台風 19 号での被災者への医療費一部負担金の免除が 3 月で終わるのを受けて「4 月以降も継続せよ」との宮城県社保協の請願が採択された。国保では、都道府県単位化の下での初の決算となるが、法定減免の適用が仙台市で 57%、その他でも 60%を超える市町がある。基金については 2017 年度 10 万円（世帯単位）以上のため込んでいる自治体が 26 自治体あり、そのうち 20 万円をこえる自治体が 7 自治体となっている。101 万円以下の所得の人が全体で 16%を占め、高いところでは 27.4%を占める。自治体キャラバンでも保険証の留め置きが横行していることが分かった。行政の担当者は「公平」を論拠にしている。

⑰ 北海道社保協 沢野さん

- ・ 2007 年以降地域医療を守る運動を継続的に進めてきた。住み続けられない地域社会になり存亡がいまかかっている。地域社会を守るためにも国の責任を果たさせることが必要。診療報酬を下げずに地域を守る意見書を議会でも採択されている。地域医療の問題では 54 病院がリストアップされている。21 の 2 次医療圏ともにオーバーベッドで削減計画が進められようとしているが、我々の運動が伝わっていないと感じている。救急車の中で死亡したり出産する事例、泊まり掛けでないと通院できない地域があるなどの中で、対象病院があげられ、34 病院がその自治体に唯一の病院でも。すでに病院が診療所になっている中で住民はどうすればよいのか。54 病院にアンケートを送付、16 病院からの回答では「納得できない」「存続していきたい」との意見。

⑱ 福岡県社保協 西村さん

- ・ 地域医療の問題では、1 月 18 日に決起集会を開催し、マスコミ 4 社から取材があった。障害者団体の会長も自身が通院している病院が対象病院となり、不安を口にして。自治体キャラバンでは、60 市町村を対象に実施しその中で「休眠」社保協と伴走型で援助をしている。直方市社保協とは直接援助しつつ、直方市独自の「要請書」を作成して取り組み、行政も「ようこそ来てくれた」といった対応もあり、国保関係の文書に「社会保障」であることが書き込まれる成果もある。

⑲ 福祉保育労

- ・ 保育労働者は、全産業平均より 10 万円低い賃金実態がある。職員配置数も

⑳ 京都社保協 松本さん

- ・ 介護の現場では人手不足が深刻になり、採用を人材派遣会社へ丸投げせざるを得ない。介護保険料や国民健康保険料の引き下げを求める運動を進めていきたい。京都市長選挙では、福山候補が中学校給食などの改善を訴えたが予算の1%で実現可能。次につながる選挙となった。無党派では18歳～19歳での支持が一番多かった。再編統合問題では知事が、問題だ、厚労省のやり方には与しないと発言している。対象の病院との懇談を進めている。その地域だけだない広い共同が必要。高齢化や人口減少の中ではやむを得ないとの声もあるが、患者がいれば必要な病院であることを訴えての病院を守る運動が必要だ。亀岡市では住民アンケートを2月14日に実行委員会を開いて取り組みを進める。

## 21 兵庫県社保協 堤さん

- ・ 地域医療を守る会が地域ごとに結成されている。公立公的病院再編問題では「またか」の声が出ている。老人会などそれぞれが立ち上がり署名運動をやり病床を守ってきた経験がある。県は、遺憾を表明しているが、地域医療構想自体は進める姿勢だ。今後は県からの圧力がかかることが予想される。今後9月ころには民間病院も含む意見を調整会議でまとめていくと思われる。基調提案内容に一部誤りがあるので修正をお願いしたい。

## 22 東京 久保田

- ・ 東京都立病院の独法化に対する運動が重要になっている。2016年5月10日、16時頃、当院1泊入院予定で右乳腺腫瘍摘出手術を実施したA氏が、手術終了直後に4人部屋の病床にて、術後診察に訪れたB非常勤医師からわいせつな行為をされたとして、警察通報があり不当逮捕が行われた。警察は、手術後せん妄状態時の患者証言に信憑性があるとして明確な証拠も示さず、準強制わいせつによる逮捕にまで踏み込んだものである。裁判中、支援をお願いしたい。

## 6. 山口事務局長のまとめ

- ・ 7団体22県社保協から23人の発言があった。再編統合問題では、民間病院がこれから問題にもなってくるので、共同行動のなかでも方向性を論議していきたい。神奈川県に対応について補強していく。兵庫県からの記載への修正などいくつか行っていく。障がい者差別は女性や高齢者への排除の論理にもつながっていく。雨海訴訟についても情報を共有し運動を強化したい。あずみの里の裁判や乳腺外科医師の不当な逮捕・裁判なども支援を進めていきたい。地域医療を守る運動では、秋田県で社保協が全市町村で請願が行われ、それが採択されて行っている。政治を変えていく視点をもって進めたい。当事者の運動の視点をもって各分野ごとの共同を広げていきたい。社会保障の解体路線に対して地域住民との結節点に社保協になって運動を進めていこう。

## 7. 閉会あいさつ 山田智中央社保協代表委員

- ・ あずみの里裁判では、窒息ではない証拠が出ているにも関わらず、有罪となった。不当な判決であることは明らかである。障がい者の65歳の介護サービスへの移行問題、ワーキングプアの問題などたたかいを進めていく。2010年から15年で、371万人の高齢者が増加した。救急搬送も増加している。ベッドを削減してやっていけるはずがない。私は、今日の討論を通じてたたかいの方法を学べた。互いのたたかいを評価しながら頑張っていこう。



## 2019年度中央社保協全国代表者会議

2020年2月5日 参議院議員会館

県	組織・団体名	氏名	組織・団体名	氏名
北海道	北海道社保協	沢野 天	医労連	五十嵐 建一
青森県	青森県社保協	木村 儀弘	医労連	鎌倉 幸孝
岩手県	岩手県社保協	高橋 貴志子	福祉保育労	民谷 孝則
宮城県	宮城県社保協	高橋 隆一	年金者組合	欠席
秋田県	秋田県社保協	佐竹 良夫	自治労連	小泉 治
山形県	山形県社保協	工藤 剛	全労連	大西 玲子
福島県	欠席		全労連	栗原 香
茨城県	茨城県社保協	木村 冬樹	民医連	山田 智
栃木県	欠席		民医連	山本 淑子
群馬県	群馬県社保協	町田 茂	民医連	久保田 直生
東京都	東京社保協	窪田 光	保団連	住江 憲勇
東京都	東京社保協	寺川 慎二	保団連	工藤 光輝
埼玉県	埼玉県社保協	川嶋 芳男	保団連	上所 聡子
埼玉県	埼玉県社保協	舟橋 初枝	保団連	山口 浩太
千葉県	千葉県社保協	関 智子	全生連	西野 武
千葉県	千葉県社保協	山縣 良一	全商連	大友 孝平
千葉県	千葉県社保協	藤田 まつ子	医療生協	岡田 有司
神奈川県	神奈川県社保協	園田 栄太郎	新婦人	欠席
神奈川県	神奈川県社保協	阿部 健司	共産党	梅津 邦夫
神奈川県	神奈川県社保協	揚妻 幸男	生協労連	柳 恵美子
神奈川県	神奈川県社保協	根本 隆	婦人民主	石黒 之俐子
山梨県	山梨県社保協	菅野 幹子	高齢期運動	中山 晴夫
山梨県	山梨県社保協	今井 拓	全教	山田 真平
長野県	長野県社保協	原 健	障全協	山崎
新潟県	新潟県社保協	新倉 順	国公労連	欠席
富山県	欠席		新医協	欠席
石川県	欠席		国労	欠席
福井県	欠席		老問研	欠席
岐阜県	岐阜県社保協	河村 彰英	全労働	欠席
静岡県	静岡県社保協	小高 賢治	全司法	欠席
静岡県	静岡県社保協	宮倉 慎二	国交労連	欠席
愛知県	愛知県社保協	小松 民子	日患同盟	欠席
三重県	欠席		日本母親	欠席
滋賀県	欠席		全厚生	欠席
京都府	京都社保協	松本 隆浩	全法務	欠席
大阪府	欠席		全損保	欠席
奈良県	奈良県社保協	菊池 高波	全農協労連	欠席
和歌山県	和歌山県社保協	佐藤 英昭	老地連	欠席
兵庫県	兵庫県社保協	堤 匠	全医労	欠席
岡山県	欠席		全港湾	欠席
広島県	欠席		新聞労連	欠席
鳥取県	欠席		全建総連	欠席
島根県	島根県社保協	河津 美知子	農民連	欠席
山口県	欠席		建交労	欠席
徳島県	徳島県社保協	楠藤 義朝	出版労連	欠席
香川県	欠席		ヘルパー	欠席
愛媛県	愛媛県社保協	片岡 朗	不公平な税制をただす会	欠席
高知県	高知県社保協	岡村 和彦	来賓	渡辺
福岡県	福岡県社保協	西村 一	しんぶん赤旗記者	笹島
佐賀県	欠席		中央社保協	山口 一秀
長崎県	欠席		中央社保協	是枝 一成
大分県	大分県社保協	児玉 圭史	中央社保協	小川 咲良
熊本県	欠席			
宮崎県	欠席		県社保協	38
鹿児島県	鹿児島県社保協	池田 勝久	中央団体	24
沖縄県	欠席		事務局	3
			合計	65